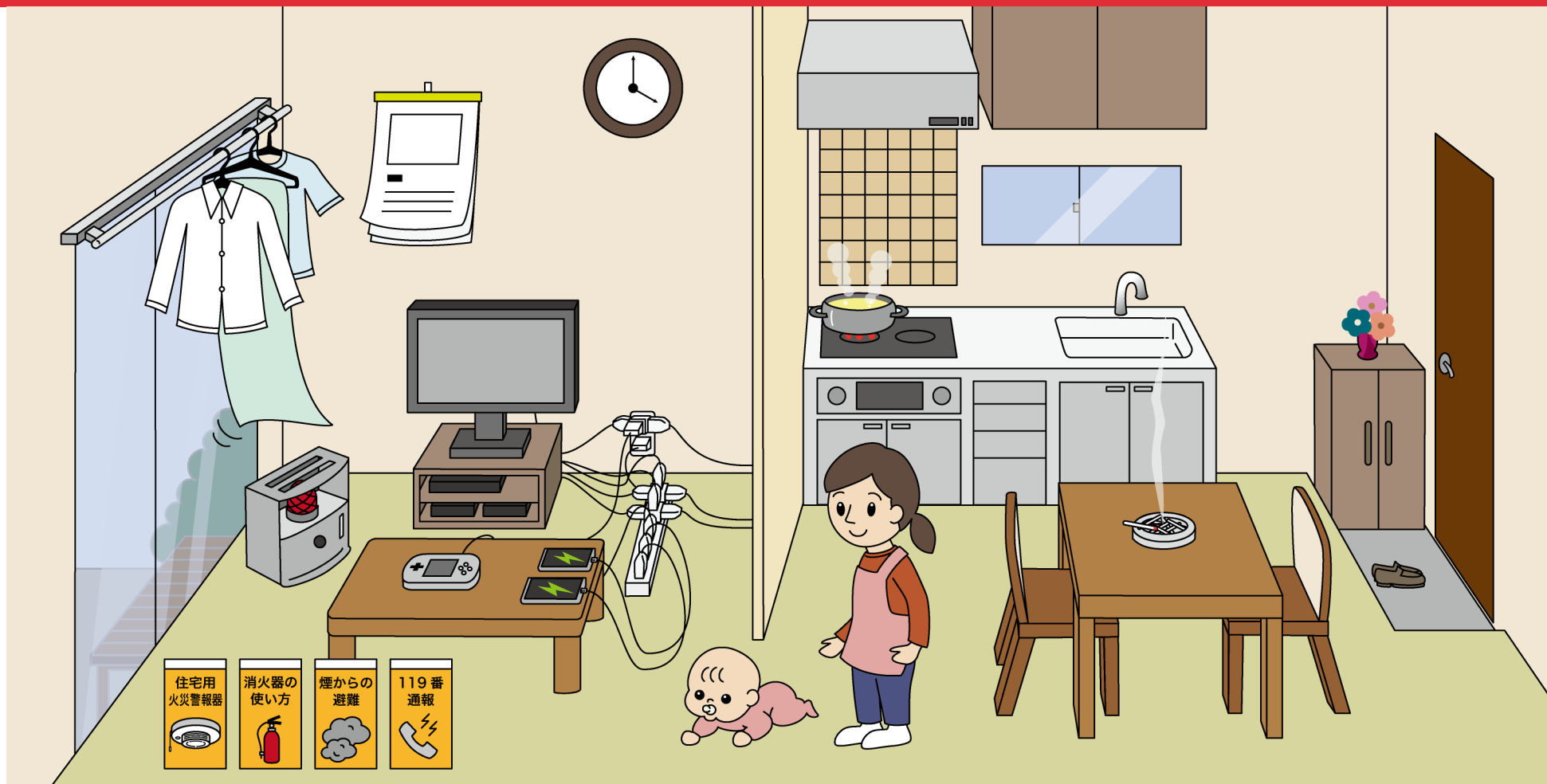


＼このまま放っておくと火事になるよ!!／



危ないところはどこかな？

●上の絵を見て、^{あぶ}危ないと思ったところを、^{わく}枠内^{ない}に書きこみましょう。



こんろ火災



住宅火災の出火原因で、^{じゅうたく か さい}こんろ火災は^{げんいん}上位となっています。
こんろによる火災のほとんどは、「放置する」「^{わす}忘れる」など、使用者の不注意です。
こんろ火災を^{ふせ}防ぐポイントを勉強して、火災をなくしましょう。

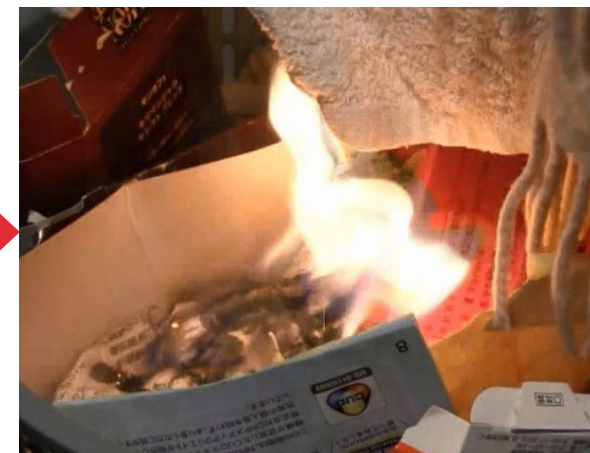
〈こんろ火災を防ぐポイント〉

- 料理中に火を使っているときは、その場を^{はな}離れないようにし、離れるときは、火を消してからにしましょう。
- こんろの周りには燃えやすいものを置かないようにして、^{せいとん}整理整頓をしましょう。
- 着ている服に火が^{せつ}接しないように注意しましょう。

3分でわかる!
住宅防火対策
～こんろ火災編～



たばこ火災



じゅうたく か さい げんいん
住宅火災の出火原因でたばこ火災は上位となっています。

たばこによる火災のほとんどは、ちょっとした不注意が原因です。

たばこ火災を防ぐポイント^{ふせ}を勉強して、火災を無くしましょう。

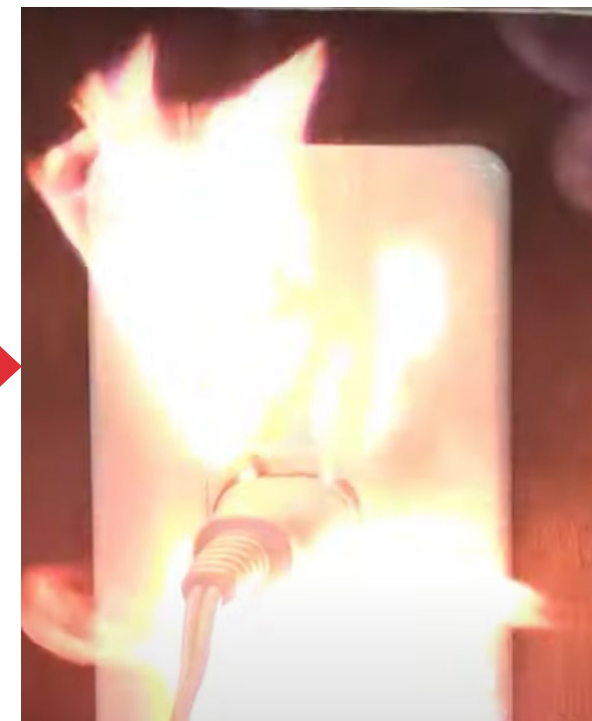
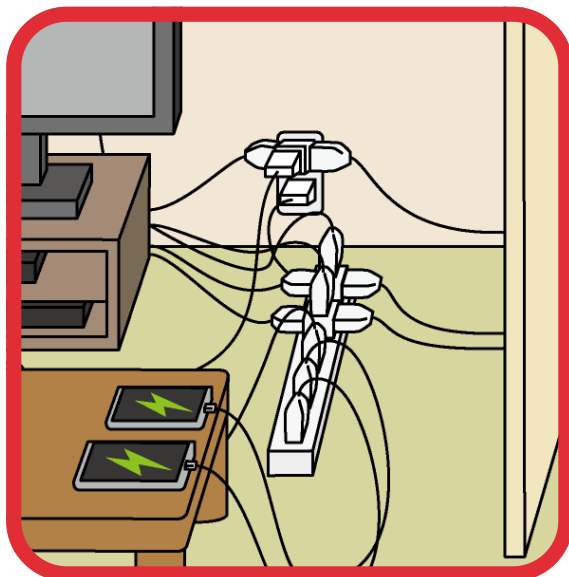
〈たばこ火災を防ぐポイント〉

- ^す吸いがらをそのままゴミ箱に捨てるのはやめましょう。
- ^ね寝たばこ（ふとんの上で寝転びながらたばこを吸う）や吸いかけのたばこを放置するのはやめましょう。
- 吸いがらはゴミ箱に入れる前に、水に^{ひた}浸して火が完全に消えていることを確認しましょう。

3分でわかる!
住宅防火対策
～たばこ火災編～



電気火災



電気はすごく便利ですが、使い方をまちがえると火災になるおそれがあります。
電気火災を防ぐポイントを勉強して、火災をなくしましょう。

〈電気火災を防ぐポイント〉

- コンセントやプラグはホコリがたまらないようにこまめに掃除をしましょう。
- コードがカーペットや家具の下じきにならないようにしましょう。
- コードを束ねたまま使用しないようにしましょう。
- 古くなった家電製品やコード、プラグを使用しないようにしましょう。
- コンセントやコード、テーブルタップには使用できる電気量に制限があるため、表示された許容量を確認して使用しましょう。

3分でわかる!
住宅防火対策
～電気火災編～



ストーブ火災



ストーブ火災はそのほとんどが使用者の注意不足が原因であり、危険性を理解して正しい使い方をすれば防ぐことができます。ストーブ火災を防ぐポイントを勉強して、火災を無くしましょう。

〈ストーブ火災を防ぐポイント〉

- ストーブの周りに燃えやすい物を置かないようにしましょう。
- ストーブを使用したまま寝ないようにしましょう。
- ストーブの上に洗濯物を干さないようにしましょう。

3分でわかる！
住宅防火対策
～ストーブ火災編～



火事は、火が小さい初めのうちなら、消すことができます。自分たちで消火できるときは、逃げ道^にを考えてから、消火器で火を消そう。ただし、危ないと思ったときは消火をやめ、すぐに避難しましょう。

〈消火器の使い方〉

- ① 火事を発見した場合は、すぐに大きな声で周りの人に知らせる。
- ② 燃えている物の3～5mくらい離れた安全な場所まで運ぶ。※必ず逃げ道を確保しておきましょう。
- ③ 消火器の黄色い安全栓を抜く。
- ④ ホースをはずし、しっかり持ち、火元に向け、レバーを強く握る。
※レバーが硬いときは消火器を置いてレバーを上から押しましょう。
- ⑤ ほうきで掃くように、燃えている物に消火器の粉を噴射する。



黄色い安全栓を抜く



ホースをはずし、火元に向ける



レバーを強く握る



噴射する

3分でわかる!
消火器の使い方



火事や急病の人を見つけたときは、すぐに 119 番通報をしましょう。
周りの人に早く知らせることも大切です。

〈 119 番通報の仕方 〉

あわてず落ち着いて、正しく^{じょうほう}情報を伝えることが重要です。

- ① 正しく 119 番する。
- ② 「火事」か「救急」かを伝える。
- ③ 住所（区名・町名・番地）と名前、電話番号を伝える。
- ④ 電話に出た人が「わかりました」というまで電話を切らない。
- ⑤ ^{けいたい}携帯電話で 119 番通報を行うときは、必ず「横浜市」とつけて住所を伝える。
- ⑥ 場所がわからない場合は、目標を伝える。



3分でわかる!
119の正しいかけ方
～火災編～



3分でわかる!
119の正しいかけ方
～救急編～



火事で一番危険なものは、煙です。火事的时候に出る煙は、危険なガスを含んでいて、これを吸うと、頭が痛くなったり、意識がなくなったりします。煙はまわりの空気よりも軽いため、上へ上へと、1秒間に3メートルから5メートルの速さで上がっていきます。

〈避難方法は？〉

- 煙は天井に集まります。煙の高さにより、姿勢を変えて、ハンカチやタオルで口と鼻をおおい、少しでも煙を吸わないように避難しましょう。
- エレベーターは使わず、階段で逃げよう。
- 火や煙で階段が使えなくなり、2階などから避難できないときは、ベランダなどで身を低くして、火や煙を避け、助けを待とう。
- 避難したら、絶対に戻らないようにする。





住宅用火災警報器を使おう



じゅうたくよう か さいけいほう き
住宅用火災警報器は、熱と煙に気づくと、音やメッセージで火事が起きていることを教えてくれます。火事を早く発見するのに、とても役に立ちます。

〈住宅用火災警報器の点検と交換〉

住宅用火災警報器は、古くなると、部品の劣化や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。本体交換の目安は約 10 年です。定期的な点検と交換をしましょう。

点検方法

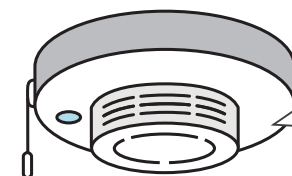


住宅用火災警報器

ボタンを押す または ひもを引く



正常を知らせる音声や
警報音が鳴れば OK!



ピーピー
火事です

ほこりが付くと火災を感知しにくくなります。
点検時に乾いた布でふき取るなどし、
いざというときに備えましょう。

3分でわかる!
住宅用火災警報器
～設置編～



3分でわかる!
住宅用火災警報器
～点検・交換編～

